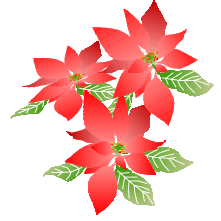




クリスマスの彩りに、街が輝きを増す季節となりました。皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、過日、震災復興応援・教育セミナー（郡山会場）が開催されました。人数は予定より少なかったのですが、県内はもとより宮城・岩手など同じ被災県や、避難児童生徒を受け入れてくださっている新潟、そして遠くは高知県からも、教員・スクールカウンセラーなど様々な立場の方が参加されました。以下、会の様子などご報告いたします。



1. 講演

演題：「地域で学ぶ『教育カウンセリング』への期待と保護者との協同」

講師：藤川 章氏（杉並区立天沼中学校校長 日本教育カウンセリング学会全国理事 東京教育カウンセラー協会代表）



藤川先生には、学校経営の立場から、生徒をどのように育てていくか、そのためにどんな組織を作ってきたかということをお話いただきました。

「課題のない子どもはいない。問題解決的な『治す』指導から、『予防・開発的』な指導への転換を図ることが必要である。」
「全ての教育活動は、アセスメントによるアプローチが大切。一部を見て全部を考えるのではなく、『木も見る、森も見る』と

いう発想で、集団も個も育てて行かなくてはならない。」など、学校教育カウンセリングの真髄に迫るお話をたくさん伺うことができました。

中でも心に残ったのは、「子どもにとって『誰がいる（自分を分かってくれる、助けてくれる、思っていてくれる人がいる）学校』であることが大切」という言葉でした。

現在、県内の高等学校はサテライトでいくつかに分かれ、受け入れ側の高校でも今までと同じ活動をするには困難が伴う状況です。また、浜通りの小・中学校の中にはまだ自校開校ができず、他地区に移ったり、プレハブ校舎を使ったりしているところが多いです。10月に自校に戻った学校も児童数が激減し、今までの教育活動が十分できない・・・という現状です。避難して他地区で生活している子どもたちもまだまだ多く、今までとは全く違った環境で生活することを余儀なくされています。

「今まで通り」が通用しないこんな時だからこそ、学校教育カウンセリングを学ぶ私たちは、『誰がいる学校』の『誰か』になりたいものだと思いを強くしました。

講演についての資料はなかったのですが、内容をまとめたものを、参会されていた原田祥子様よりいただきましたので、あわせて送付いたします。感謝を込めてご紹介いたします。

藤川先生より、福島の皆様へということでメッセージをいただいているのでご紹介いたします。

皆さん大変な状況の中で、ひた向きに生きようとする姿に触れ、私の方が勇気づけられ、元気をいただけて帰ってきました。

これからですね。これからが本当に絆を強く結んでやっていかなければならないときになりますね。多くの人とのふれあいの一つ一つを大切にしていきましょう。

藤川 章

* 今回発行の通信タイトル「結」は、藤川先生の実践からいただいた言葉です。震災発生から約9か月。人と人の縁、そのつながりや、昔ながらの共同体「結」の発想を大切にしていきたいという思いで、この言葉をいただきました。

協会の研修再開にあたり、私たちもカウンセリングを学ぶ「結」の仲間として、つながりを深められれば幸いです。



2. 演習

SGEプログラム「We are one」

講師：榊原 康夫 (SGE公認リーダー)

スーパーバイザー：藤川 章氏

「We are one」プログラムから、以下のエクササイズを行いました。

1. リチュアル "We are one"
2. パースデーライン
3. リレーションづくり "指と指のリング"
4. リレーションづくり "はぐれジャンケン"
5. リレーションづくり "肩たたき肩もみ"
6. リレーションづくり "背中合わせ"
7. リレーションづくり "困ったとき辛かったとき"
8. リレーションづくり "人の身になって話す, 聞く"
9. リレーションづくり "たんぽぽ~花萌え~"
10. リレーションづくり "頑張れと僕は言わないけれど"

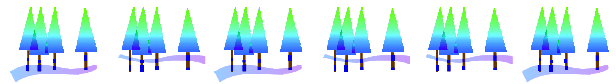


「自分が辛かったと感じていたことを、ちゃんと聞いて隣のペアに伝えてもらったとき、『分かってくれてありがとう』という気持ちになりました。」
「ありがとうと言っていたいてありがとう。」

等々・・・様々なシェアリングが、交流されました。大人である私たちも、何らかの形で「被災」しているのだと感じるにつけ、子どもたちはどんな思いを抱えているのだろうと案じられます。温かなふれあいの体験を通し、『＜自他の不安・孤立感・無力感＞の克服に向け、仲間とともに日々生きて欲しい』(SGEプログラム「We are one」p3, 「はじめに」より: 日本教育カウンセリング学会HP / 震災情報「We are one」参照)と、願わずにはいられません。

まずは、大人同士が「つながり合い、支え合う」関係を作ることが大事ですね。今後ともご縁が繋がりますように。

3. 今後の活動について



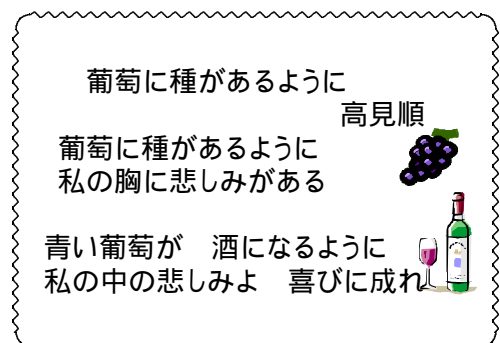
組織について

- ・ 新代表・榊原康夫先生の下、新組織が結成されました。これまで11年間会を支えてくださった、前代表・吉田正夫先生には、心から感謝いたします。
- ・ 被災地でカウンセリングを学ぶ私たちだからこそ、予防・開発的に「打って出る」ためにどうしたらよいか考え、発信していこう...という大きな課題が出されました。引きつづき考えていきたいと思っております。お知恵を貸してください。



研修について

- ・ 次回研修は、来年1月22日(日)の予定です。詳細は、別紙にてご案内いたします。
- ・ ぜひ、研修感想などお寄せください。学びをシェアできれば、きっとお互いの財産になります。今回も、何名かの方からご意見・ご感想をいただき、事務局一同励みになりました。ありがとうございました。



一人ひとりがそれぞれ心の中に様々な「種」を抱えている今、いつかそれが味わい深い「酒になる」・・・難しいことかもしれませんが、その日を願い、支え合い励まし合っていきたいと思っております。

寒さに向かう折から、くれぐれも皆様ご自愛ください。再会の日を楽しみに。どうぞお元気で、よいお年を！(文責・庶務担当 鈴木知伊子)